



いじめのない学年を目指して ～道徳の授業から～

6月の道徳では、仙台市のいじめ防止「きずな」キャンペーンの取り組みの一つとして、いじめを題材とした授業を行いました。

1回目は、道徳の教科書にある、右の絵から「いじめ」にあたるものはどの行為かを学級全体で考えました。事前アンケートでは「一人に対して複数人が一方的に悪口を言ったり、暴力をふるうことがいじめだと思う。」と答えていた生徒たちが、「無関心なものいじめの一つだ」という発言にみんな納得をしたり、「顔は笑っているけれども、本心ではその行為を嫌がっているのかもしれない。」という気付きを全体で確認したりすることができました。2回目の道徳では「二番目の悪者」という絵本を教材に用いて、噂や悪口を真実かどうかの確認もせず、信じてしまうことの恐ろしさについて考えました。3回目となった6月19日(水)は武道館で学年道徳。生徒一人ひとりに教科書の「いじめ」を扱った教材の登場人物を割り振ってロールプレイで、「なぜ、このようないじめの状況が生まれてしまったのか?」「いじめの状況を作らないためにはどうすればよいか?」をじっくりと考える時間となりました。普段はなかなか話すことができない「いじめ」について互いに意見を交換しあえたことで、「いじめ」に対する価値観の変化があったように思います。今回生徒たちが考えたこと、心に芽生えた思いを大切に、「いじめ」を生まない・許さない愛宕中1学年にしていきます。

***** 生徒の感想 *****

- どうしたらいじめをなくすことができるのかを考え、話し合うことができました。いじめをなくすことは、とても難しいことだと思います。それでもなくすために努力することはできると思うので努力したいです。
- 今日の授業でいじめている人以外にも、見てだけの人、グループの人とも悪いという事が分かった。僕は、「見てるけど何もしてくれない」というのが、ある意味見捨てられた気がして傷つくと思いました。
- Aさん、Bさん、Cさんそれぞれの立場で考えることは違うのだと分かった。「誰が悪いのかの答えは1人ではない。一見悪くなさそうな「何もしない人」。けれどできることはある。日々の生活の中でこのようなことがあったら、できることをして、解決できると良いと思った。
- いじめる人だけが悪いのではなくとめない人も悪いということがわかった。
- 「いじめ」について学び、実際に話し合った。いろいろな役に分かれて、いろいろな視点からの意見が聞けて、いつもよりも具体的でとても良かった。
- 今日、学年道徳で「いじめ」がなくなるように考えた。いじめは他のグループが「いじめた人にいじめ返せばいい」と言っていたが、そうしたらいじめはずっと続くと思うので、クラス全体で、いじめはいけないという意識をしていきたい。
- いじめている人は注意してもやめないから、継続して注意しないといけないと思った。
- いじめは人の心に深い傷をおわせるのでなくなってほしい。でも、なかなかなくなるので、みんなが仲良くなるといいと思った。



《来週の子定》

日	曜	授業内容と連絡	給食	部活
24	月	1組 国・体・理・数・社・ 数 ※時間割変更あります 2組 数・体・国・社・理・音 ・給食当番で白衣を持ち帰った生徒は白衣を忘れずに！ ・給食当番／清掃担当場所の確認を行いましょう。 ☆放課後：奉仕委員会（部活動なし）	○	×
25	火	1組 国・美・社・ 英 ・理・ 理 ※時間割変更あります 2組 美・国・数・理・英・ 社 ※6校時：授業変更あり	○	○
26	水	1組：英・体・国・道・音・社 2組：国・体・英・道・社・数 ○眼科検診：9：00～ ○4校時：第8回 道徳 ○放課後：中央委員会 ○貧血検査調査票 提出締切日	○	○
27	木	1組：数・国・体・理・英・ 総 2組：理・数・体・英・国・ 総 ○6校時：総合（合唱コンクールについて）	○	○
28	金	1組：技・家・数・英・音・音 2組：家・技・英・音・社・社 ○白衣持ち帰り忘れないこと！！ ○プール利用事前健康調査提出締切日 第3回 自主学習ノートコンクール	○	○
29	土			
30	日			

（学年主任のつぶやき）

久々の緊急地震速報に驚いた。一瞬にしてあの頃の不安な気持ちがよみがえってくる。ふと忘れがちになる、災害への備え……。倒れそうな家具はないか？戸棚の扉が開いてしまうことはないか？備蓄してある水の消費期限は切れていないか（案の定切れていた。）今週、少しずつ再点検。ふと、玄関にあじさいが飾ってあることに気付いて心がホッとした。地震後にひとり暮らしの娘を心配し、高齢の母が様子を見に来てくれ、実家のあじさいを生けてくれたのだろう。立場が逆だなあ～。私が様子を見に行かねばならなかった・・・と反省しきりである。

